

OpenAM 代理認証オプション(mod_authproxy)

インストールガイド



オープンソース・ソリューション・テクノロジー(株)

更新日: 2014 年 1 月 20 日

リビジョン: 1.2

目次

1. 概要	1
1.1 はじめに	1
1.2 インストール条件	1
1.2.1 ソフトウェア要件	1
1.2.2 ハードウェア要件	1
1.3 前提事項	1
1.4 パッケージ構成	2
2. mod_authproxy のインストール	3
2.1 OSSTech パッケージ (RPM) のインストール	3
2.1.1 RPM 一覧	3
2.1.2 基本パッケージのインストール	3
2.1.3 mod_authproxy のインストール	3
2.2 OpenAM 代理認証の起動	3
3. 認証 POST プロセスクラスのインストール	4
3.1 前提条件	4
3.2 認証 POST プロセスクラスのインストール	4
3.2.1 OpenAM 9.x	4
3.2.2 OpenAM 11.x	4
4. 改版履歴	6

1. 概要

本ドキュメントは、弊社提供の OpenAM 代理認証オプション(Apache モジュール: mod_authproxy)を導入するための手順書です。

1.1 はじめに

OpenAM 代理認証オプションのインストールの際に、必ず本ドキュメントの内容を確認してから、作業を実施してください。

本ドキュメントに関する記載内容について、疑問点等がある場合には、弊社サポート窓口までお問い合わせください。

1.2 インストール条件

1.2.1 ソフトウェア要件

以下のいずれかの OS と Apache が必要です。

- RedHat Enterprise Linux 5 / 6 / CentOS 5 / 6 (x86-64)
- Apache2.2.3 以上 (OS 付属版 Apache のみサポート)

1.2.2 ハードウェア要件

ソフトウェア要件に記載の OS が動作する以下のハードウェア環境が必要です。

CPU:	x86-64 2 コア以上	
メモリ:	1GB 以上	
ディスク:	ソフトウェア: /opt/osstech	1GB 以上

ここで記載のデータは最小要件です。リバースプロキシは、各アプリケーションサーバーへのアクセスが集中します。アクセス数や利用用途より見積りを行って下さい。

1.3 前提事項

導入にあたっての前提条件は以下となります。

- Apache のインストールが完了していること

mod_authproxy は Apache のモジュールとして動作するため、Apache がインストールされていることが前提となります。Apache のインストール手順については記載しません。

1.4 パッケージ構成

弊社が提供する ソフトウェアは以下のパッケージにより構成されています。

- OSSTech ソフトウェア製品基本パッケージ
 - osstech-base
 - osstech-support
- OpenAM 代理認証オプションパッケージ
 - osstech-mod_authproxy

下記パッケージは OpenAM が導入されているサーバーにインストールします。

- OpenAM 認証 POST プロセスクラスパッケージ
 - osstech-openam-postauthplugin

2. mod_authproxy のインストール

本章では mod_authproxy のインストール手順について説明します。

2.1 OSSTech パッケージ (RPM) のインストール

OSSTech の RPM パッケージを利用してインストールする手順を説明します。

2.1.1 RPM 一覧

以下の RPM をインストールします(X の部分にはバージョン番号が入ります)。

```
osstech-base-3.x-xx.el5.noarch.rpm  
osstech-support-3.x-xx.el5.noarch.rpm  
osstech-mod_authproxy-X.X-X.el5.noarch.rpm
```

2.1.2 基本パッケージのインストール

まず最初に、base ディレクトリにある osstech-base、osstech-support、パッケージをインストールします。既にこれらのパッケージがインストールされている場合は、この手順は不要です。

```
# rpm -ihv osstech-base-3.x-xx.el5.noarch.rpm osstech-support-3.x-xx.el5.noarch.rpm
```

2.1.3 mod_authproxy のインストール

rpm コマンドを使用して、RPM パッケージをインストールします。

```
# rpm -ivh osstech-mod_authproxy-X.X-X.el5.noarch.rpm
```

インストールを行うとモジュールのインストールと共に mod_authproxy の設定方法のサンプルとして、以下のサンプル設定ファイルが配置されます。

```
/etc/httpd/conf.d/authproxy.conf
```

以上で、OpenAM 代理認証オプションパッケージのインストールは完了です。

2.2 OpenAM 代理認証の起動

mod_authproxy は Apache のモジュールとして動作します。Apache の設定ファイルにて設定を行い、mod_authproxy は Apache の起動/停止でコントロールします。Redhat 系統の Apache は以下のコマンドで起動/停止が可能です。

- 起動

```
# /sbin/service httpd start
```

- 停止

```
# /sbin/service httpd stop
```

3. 認証 POST プロセスクラスのインストール

本章では認証 POST プロセスクラスのインストール手順について説明します。

3.1 前提条件

認証 POST プロセスクラスは、OpenAM が導入/初期設定済みのサーバーにインストールします。OpenAM のインストールと初期設定が完了していることが前提となります。設定が完了していない場合は、初期設定後に本手順を実行して下さい。

認証 POST プロセスクラスは/opt/osstech/share/tomcat6/webapps/openam/WEB-INF/配下にインストールされます。デプロイ名が「openam」ではない場合、一部手順に追加がある点にご注意下さい。

3.2 認証 POST プロセスクラスのインストール

OpenAM のバージョンによりインストール対象のパッケージが異なります。バージョンに合わせた手順を実施してください。

|| 3.2.1 OpenAM 9.x

rpm コマンドを使用して、RPM パッケージをインストールします。

```
# rpm -ivh osstech-openam-postauthplugin-x.x-x.el5.noarch.rpm
```

インストールを行うと jar ファイルが/opt/osstech/share/tomcat6/webapps/openam/WEB-INF/lib/に、プロパティファイルが/opt/osstech/share/tomcat6/webapps/openam/WEB-INF/classes/に配置されます。

デプロイ名が「openam」以外の場合、正しい場所に配置します。

```
# cp -pi /opt/osstech/share/tomcat6/webapps/openam/WEB-INF/lib/openam-postauthplugin.jar /opt/osstech/share/tomcat6/webapps/[デプロイ名]/WEB-INF/lib/
# cp -pi /opt/osstech/share/tomcat6/webapps/openam/WEB-INF/classes/AuthProxyPAP.properties /opt/osstech/share/tomcat6/webapps/[デプロイ名]/WEB-INF/classes/
```

以上でインストール作業は完了です。

インストール後に必要な設定作業は、mod_authproxy 管理者ガイドを参照してください。

|| 3.2.2 OpenAM 11.x

rpm コマンドを使用して、RPM パッケージをインストールします。

```
# rpm -ivh osstech-openam-11-postauthplugin-x.x-x.el5.noarch.rpm
```

インストールを行うと jar ファイルが/opt/osstech/share/tomcat7/webapps/openam/WEB-INF/lib/に、プロパティファイルが/opt/osstech/share/tomcat7/webapps/openam/WEB-INF/classes/に配置されます。

デプロイ名が「openam」以外の場合、正しい場所に配置します。

```
# cp -pi /opt/osstech/share/tomcat7/webapps/openam/WEB-INF/lib/openam-  
postauthplugin.jar /opt/osstech/share/tomcat7/webapps/[デプロイ名]/WEB-INF/lib/  
# cp -pi /opt/osstech/share/tomcat7/webapps/openam/WEB-  
INF/classes/AuthProxyPAP.properties /opt/osstech/share/tomcat7/webapps/[デプロイ  
名]/WEB-INF/classes/
```

以上でインストール作業は完了です。

インストール後に必要な設定作業は、`mod_authproxy` 管理者ガイドを参照してください。

4. 改版履歴

- 2012 年 5 月 29 日 リビジョン 1.0
 - 初版作成
- 2012 年 10 月 15 日 リビジョン 1.1
 - 認証 POST プロセスプラグインの手順を追加
- 2014 年 1 月 20 日 リビジョン 1.2
 - ソフトウェア要件から MPM のサポート制限を削除
 - OpenAM 11 用の認証 POST プロセスクラスのインストール手順を追記